

2015～2016 ワイズメンズクラブ六甲部 活動中間報告

広報事業について中間報告させていただきます。

報告内容は、最初に再度ワイズメンの活動目的を再確認し、直近の YMCA の事業戦略に触れることで、本年度の広報事業の活動中間報告との整合性を確認したいと思います。

ここでのキーワードは、ブランディング、ブレンディング、ルーティン化です。

最初に、ワイズメンズクラブの目的とは、理想主義者として YMCA に奉仕する。YMCA とのつながりを強化すべく、活動・協働を通じて YMCA をサポートすることが求められています。そのためには、YMCA の奉仕クラブとして活動する、健全な交友関係の中でワイズメンズクラブの国際、地域、区の事業を支援するとされています。

一方で YMCA は、機関紙「THE YMCA」等によれば、特に地域の歩みの中で多くの人たちと育んできた素敵な諸事業を「宝」として再認識する。この宝をブランディングすることで YMCA として創造してきた価値を最大化する。そのあと、内外に分かり易く積極的に広報することで、YMCA 会員の増強と YMCA の体質強化を図ろうとしています。

YMCA の事業戦略は大きく変化しつつあります。ワイズメンズクラブとしても、YMCA の戦略を尊重し、可能な限り共調することの必要性も指摘されています。

このような状況を背景に、半年前に本年度の六甲部の広報事業の活動計画案として、戦略的には、

各クラブ内で独自に展開され輝いている活動を、まずは創造された価値、すなわち宝物として認識する

次いでクラブ独自の宝・価値をブランド化し、六甲部内部でブレンディングする。8 クラブが連携・交流することで、作用・反作用の物理的なプロセスを得て、化学反応も生じる。そのことで、オリジナルのブランドには、見出す事の出来なかった新たな付加価値を付与し、シナジー効果を創造する。ブレンディングの妙を通じて、単体のコーヒー豆とは違ったブランドの強化になることが期待される。

各クラブで創造されたこれらの内部価値を広報を通じて広く外部に伝える。そうすることによって、六甲部として力の源泉である、新規会員の獲得に資する

そのための戦術としては、

本年度は、広報活動の一環としての HP の充実に焦点を絞りました。

すなわち、各クラブの素敵な価値情報を、内外に速やかに広報する。そのために、各クラブの HP を常に適切な状態に更新する、ことを目指しました。

詳細は後述しますが、特に、日々の、毎月の、活動を多くの方に知っていただく、その前段階としてのブリテンの公開については、各クラブのご協力を頂き、幸い現在全 8 クラブで実施されています。

なお今後、六甲部の HP への記事等の掲載につきましては、弊社にお問い合わせいただければ、六甲部役員の方々にご協議頂けるよう、取り図りたいと思います。

ご検討頂ければ幸いです。

1. 事業名: 広報事業

2. 主査氏名: 細見 俊雄

クラブ名: 神戸ポート

3. 主査主題: 情報を活かす ～アンモナイトから現在へ～

4. 活動方針: ワイズメンズクラブのミッションとワイズメンズクラブ六甲部が、
体現し且つ日々創造している価値を内外に伝える

5. 活動成果: (本年度は、広報活動の一環としての HP の充実に焦点を定めた)

- ① 多胡前期部長の依頼を受け、当該年度の活動履歴を六甲部 HP の「資料」欄に収納し、今後の六甲部の活動に資することが可能とした
- ② 全 8 クラブの HP で、従来課題となっていたブリテンが更新され、外部よりのアクセスが可能になった
- ③ 六甲部 HP「事業委員会/広報事業」欄に、暫定資料として「2015-16 ワイズメンズクラブ六甲部次期活動方針・計画(案)(事業主査用) 事業名: 広報事業」及び「2015～2016 ワイズメンズクラブ六甲部活動中間報告(事業主査用) 事業名: 広報事業」を up した

6. その他の特記事項(今後の課題)

- ① 各ワイズメンズクラブの日々の素敵な活動をブランディングし、外部に積極的に発信していくためにも、HP 内のブリテン欄以外の項目も、今後暫時更新していくことが望まれる
- ② 六甲部評議会・六甲部会などの案内書は、書記等の発信者より YMCA の HP の担当者にも併せて送付することで、次年度より自動的に「六甲部報」の欄に up 出来るようにする
- ③ その他の議事録などの活動記録は、広報委員と担当部門で協議し、HP に up する(部長承認の有無?)
- ④ 当該年度の HP の記載事項は、任期終了後 YMCA の HP 担当者と調整の上、年度別フォルダーを作成、「資料」欄に収納し、今後の六甲部の活動に資することとする